

2021年1月に愛知県で全国的なスポーツイベントが開催されましたが、みなさん、御存知ですか？

そうです！第76回国民体育大会冬季大会「夢！きらリンク愛知国体」です。

愛知県では、スケート競技会・アイスホッケー競技会が開催され、ショートトラック、フィギュアスケート、アイスホッケーの各県代表選手が集い競い合いました。

新型コロナウイルスの影響により、残念ながら無観客での開催となりましたが、インターネットで配信された「国体チャンネル」で観戦した！という方もいらっしゃると思います。

今回は国民体育大会を紹介したいと思います。

【国体って何？】

「国民体育大会」（以下、国体）は、毎年開催される日本最大の"スポーツの祭典"です。

国体の参加者は毎年2万人以上にのぼり、その人数は、オリンピックをも上回るビッグイベントです。

そして、国体は都道府県対抗。県内予選、ブロック地区予選を通過し、代表に選出された選手たちが、郷土の代表選手団として全国から集まり、頂点を競います。

開催県は各都道府県の持ち回り制ですが、国体開催に名乗りを上げた都道府県はなんと10年以上もかけてその準備に取り掛かります。

愛知県では、1950年「第5回大会」、1994年「第49回大会（わかしゃち国体）」、2012年「第67回冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会（夢リンク愛知国体2012）」、2021年「第76回冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会（夢！きらリンク愛知国体）」が開催されました。

そして、1946年に第1回大会が開催されて以来、「国体」として親しまれてきた国民体育大会は、2024年に佐賀で開催される大会から、名称が「国民スポーツ大会」に変更となります。



【第74回いきいき茨城ゆめ国体開会式】

【国体はいつ開催されるの？】

1月末の冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会から始まり、2月にスキー競技会、秋に本大会（正式競技は陸上競技始め37競技）が開催されます。

冬季大会の3つの競技会及び本大会の成績により、都道府県対抗の総合成績が出されます。

【愛知県選手団の成績は？】

2019年に開催された第74回大会では、愛知県選手団は男女総合成績3位、女子総合成績3位と大変素晴らしい成績を収めました。

国体の成績は、都道府県における競技力の向上と体育・スポーツの普及・振興の状況を図る重要な指標であり、本県の競技力のレベルは全国的にみても高い都道府県の1つであると言えます。

その後の愛知県選手団の活躍も期待されましたが、2021年1月の第76回冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会は開催されたものの、新型コロナウイルスの影響により2020年第75回本大会、2021年第76回冬季大会スキー競技会、本大会は、開催されませんでした。



【第74回いきいき茨城ゆめ国体ソフトボール競技会】

【おわりに】

さて、次の選手たちから、何を連想しますか???

峰幸代選手、渥美万奈選手、川畑瞳選手、山崎早紀選手（ソフトボール）、武藤弘樹選手（アーチェリー）、馬瓜エブリン選手（バスケットボール）、石川祐希選手（バレーボール）、鈴木亜由子選手（陸上競技）、寺本明日香選手（体操競技）、安藤美姫選手、本郷理華選手、宇野昌磨選手、鈴木明子選手（フィギュアスケート）。

皆さん、愛知県を代表するオリンピック選手です。そして、愛知県選手団として国体に参加された選手でもあります。

国体では、現役日本代表選手が出場することもあるのですよ！！

国体で活躍した選手が未来のオリンピックになる可能性もあります。

2021年1月に開催された「夢！きらリンク愛知国体」では、吉永一貴選手（ショートトラック）や松生理乃選手（フィギュアスケート）など、2022年2月に開催される北京2022冬季オリンピックへの出場が期待される選手も出場しました。

次回の国体開催は、2022年1月の「いちご一会とちぎ国体」冬季大会です。愛知県選手団の活躍に是非！注目してください！！

○参考：「JSPOPlus」（公財）日本スポーツ協会

<https://media.japan-sports.or.jp/column/12>

○愛知県選手団の過去の成績はこちら

🏠（公財）愛知県スポーツ協会 <http://www.aichi-sports.or.jp/kokutai/index.html>

掲載サイト：愛知県スポーツ局競技・施設課

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kyougi-shisetsu/sports-column.html>